

利用学習計画書

平成25年4月8日

担当 第6学年 菌部 奈緒美

1 ねらい

- ・旧石器時代の仙台市近辺の自然の様子や旧石器時代の人々の暮らし方を知る。
- ・石器作りの体験を通して、古代人の技術や知恵を実感し、歴史学習への関心を高める。

2 評価

石器時代の人々の暮らし方が理解できたか。(観察・ノート)

3 学習活動について

社会科6学年 単元名「縄文のむらから古墳のくにへ」

小学校の歴史学習は主に縄文時代からであるが、土器以外にも発掘される様々な石器から、縄文時代と重なる当時の生活の様子を想像したり、食べることが最大の課題であった暮らしについて考えさせたりする上で、地底の森ミュージアムの展示や体験学習は有効であると考え、今回の学習活動を設定した。

4 事前指導

(1) 学習内容について

- ・発掘された様々な石器の形状や用途、材料について考え、自分の考えを持たせた。
- ・農耕が始まる以前の人類の食料について考え、資料から考えさせる活動をしてきた。

(2) 見学の仕方・体験学習について

- ・展示品の見方、ノートへの記入の仕方、記入するときの生活科バッグの使い方等
- ・体験学習時の服装、作業内容について

5 当日の指導(活動)内容

(1) 見学学習

- ・地下展示室解説付き見学
- ・1階展示室自由見学

(2) 体験学習

- ・石器作り

6 事後指導

資料を作成し、発表会を行う。

利用学習報告書

平成 2 5 年 5 月 2 日

担当 第 6 学年 藺部 奈緒美

1 事後指導について

(1) 実施日

平成 2 5 年 4 月 1 9 日～5 月 2 日 社会科の授業

(2) 主な内容

社会科の授業で、利用学習を通じて調べたことをもとに、新聞を作成した。

2 送付する資料

児童生徒の作成資料…新聞（4 枚分）

縄文・地底の森新聞

2万年前について

平成二十五年
四月十八日
(木)に東宮城野小学校六年一組のみんなと校外学習に行きました。最初に地底の森ミュージアムに行きました。ここでは、2万年前、旧石器時代のころについて、勉強しました。

地価展示室には2万年前の木や、旧石器人がたき火をした跡、石器を作った跡などが残されていました。木はすごく大きくて、その大きさにびっくりしました。また、旧石器人の居た跡を公開しているのは、世界中でもここだけだ

うものを、残していきました。これは、槍先に使われたものだそうです。
自然・気候について!
旧石器時代の頃は、氷河期だったため、今の仙台より平均気温が、7〜8度くらい低かったそうです。樹木の多くは、針葉樹で、トミザワトウヒ(絶滅種)などが、生きていました。また、昆虫もいまでは北海道より北にしか、いない虫もいたそうです。しかのふんからは、その当時から、かハシバミやササを食べていたことが分かっています。

2・縄文について

地底の森ミュージアムの後、私たちは、縄文の森広場へ行き、見学を、しました。縄文の森広場は、山田上ノ台遺跡といい、約4000年前の遺跡です。この遺跡からは、竪穴住居あとが、見つかったっており、栗の木で作られています。入口は、南側です。家の中は、自分が思ってたより、広く、天井の柱が、低めでした。これは、縄文人の平均身長が、いまより、小さいからです。竪穴住居は、湿気がこもりやすいのが、デメリット。でも、家の



中で、火を焚くことで、湿気を逃がしてしました。家の周りには、貯蔵穴、埋設土器、落とし穴、土器を焼いた穴などが、見つかっています。縄文人は、畑を作り、作物を育てていたそうです。ほかにも、狩り、漁、木の实などの採集をして、食料を、確保していました。道具も、使い分け、矢先、木の実の加工用など色々ありました。旧石器の頃と比べると、凄に進歩ですね



アクセサリ! & 石器作り!
2つの場所では、私たちは体験学習をしました。地底の森では、**石器作り体験!**なかなか根気のいる大変な作業でした。うまく割れなかったり、ちがうところを割れたりして思うようにいかないことも。ちなみに私は、最後の1たきで割れました。
縄文作り!
こちらは、比較的簡単にでき、みんなニコニコ!角を取る作業がちょっと難しかったです。できあがりにはスベスベ!みんな凄く上手でした。

昔の暮らし

東宮城野小学校

6年1組 B男

約二万年前へタイムスリップ！

平成二十五年四月十八に地底の森広場にきた。旧石器時代の人のたき火跡や薄くけづられた石器などが見つかっている。

石器は語る

見つかった石器はナイフ形石器と言って、ヤリの先につけるそうです。

見つかった石器の中には動物の肉や皮を切ったときにできる、使用痕をもった物も見つかった。小さい動物などの肉を切っていたのでしょう。

自然の様子

中央に大きな根株があり、た。グイマツという樹木は氷河期の寒い気候のころでも育つ根株です。遺跡からは樹木や葉・種の植物化石や昆虫の羽、動物の糞などいろいろな資料が出ています。

土地

周りより低く、沼や湿地が多い。平らな土地でした。ちなみに、二万年前の地層は現在から五m下にある。

植物

樹木の多くは針葉樹で、それに、広葉樹が始まり、その近くにはツツジなどの低い木もありました。また、沼や湿地、草原にはスゲやキクの仲間など色々な草が生えていたそうです。

昆虫

陸生や水生、そして湿地にすむ昆虫が分かっています。この中には、今では北海道より北にしかいない昆虫もあり、昆虫からも当時の気候が寒かった事が分かります。

動物

五十〜百個の黒い粒が、あちこちから見つかり、形や大きさをなどを調べたら、鹿の糞の事が分かりました。鹿の群れが越冬のためにやって来ていた見たいです。鹿の糞からはハシバミやササといった植物を食べていたことが分かりました。



縄文の森広場について

地底の森ミュージアムと同じ日の午後、山田上ノ台遺跡が復元された縄文の森広場に到着！この山田上ノ遺跡は今から約四千年前の遺跡です。

すごいぞ！縄文人

土器、弓矢、編み物、魚とりの道具・・・そのほかまだまだあるよ。
暮らしを良くするための工夫と知恵がいっぱい！まさに！ノーベル賞級！

環境に優しい縄文人

縄文人は暮らしを支えてくれる森などの環境を大切に、食べられる物は何でも食べて道具は壊れるまで使っていたそうですよ！

まさに！

持ったえない心の原点！



たぶん縄文土器

大昔新聞

東宮城野小学校

6年1組 C子

平成二十五年
四月十八日木
私達、東宮城野
小六年一組は、
校外学習「地底
の森ミュージアム」
「縄文の森広
場」に行ってきました
ました

地底の森ミュージアム



地底の森ミュージアムは、「長町南小学校」の建設中タマタマ見つかった「富沢遺跡」の一部分です。この遺跡は、今から、約二万年前、旧石器時代の木の根の遺跡です。鹿のふんや、キャンプをした跡、さらに、石器を作った跡もありました。

さらに、はぎとった地層もありました。現代の地層から旧石器地層まで、五Mあります。

自然の様子

二万年前の土地は、周りよりも低く、沼や湿地で、平らな土地でした。松などの針葉樹が、生えていました。ミュージアムにも・・・

縄文の森広場



縄文の森広場は、およそ、四千年前、一万年ほど続いた縄文時代を、復元した物です。右の写真は、縄文人が、住んでいた縦穴住居という家です。

家の、周りには、貯蔵庫、落とし穴、土器を焼いた穴がありました。縄文人は、くらしを支えてくれる森などを大切に、何でも口にしていました。

オドロキ縄文

また、当時の家の中にはクリ、トチノミなどを貯えていました。ドングリクッキーなどが、人気だったようです。

自然の様子

村の周りには、キキョウ・ケヤキ・コブシ・クリなどの木が、生えていました。

石器作り



旧石器時代、動物の肉皮を切ったりするナイフ型石器というヤリ先につける物を作っていました。

まが玉作り



縄文の森広場では、まが玉作りをしました。

「こちら、一生懸命です。石器よりは、楽しかったです。縄文人は、オシヤレにこだわっていたのかと思います。」

まとめ

大昔の人々は、知恵をしっぽって暮らしていました。

いきました。
しあげ用のや
すりで、勾玉
をつるつるに
しました。最
後に、ワックス
をぬり、も
っともつとつ
るつるにしま
した。ワックス
は少し臭った
ので、紐を通
して、のびち
みでできるように
しました。